

APRC2017 盛況です (DAY2)

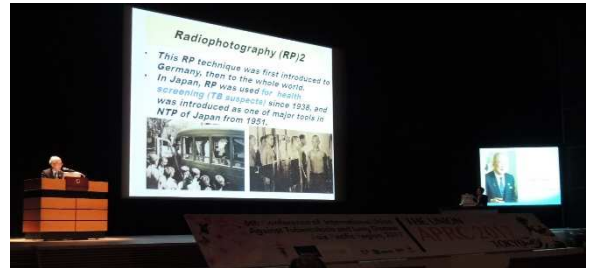


APRC 2017 TOKYO
March 22-25

本日 (3/23) の APRC2017 (第6回国際結核肺疾患予防連合アジア太平洋地域学術大会) の模様を簡単にご報告します。

基調講演1-温故知新

本会名誉顧問の島尾忠男先生がご発表の予定でしたが、お作りなされたPPTをもとに、結核研究所の石川信克所長が代わって発表されました。早朝にもかかわらず多くの方に来ていただきました。



ジョイントプログラム

-アジア太平洋の婦人会活動

日本語で発表される方も4名中3名いらしたので、座長の錦織信幸先生 (WPRO) が、英語と日本語にそれぞれ即時に訳してください、会場全体が一体のなった感じがしました。



開会式

お写真はお出しできないのが残念ですが、森先生の開会挨拶の後、結核予防会総裁、秋篠宮妃殿下のお言葉を賜り、またユニオン (国際結核肺疾患予防連合) の代表やアジア太平洋地区の代表などがご挨拶くださいました。

来賓として、厚生労働省塩崎大臣 (代読で結核感染症課浅沼課長) と日本医師会長横倉会長にご挨拶いただきました。

開会講演

大会長の森先生にご講演いただきました。



レセプション

石川結核研究所所長の開宴挨拶のあと、世界保健機関西太平洋事務局を代表して錦織幸先生にご挨拶いただきました。また、石川県の日本酒、手取川で鏡開きがありました。

三つの樽を揃いの法被を着た代表が、木槌で「よいしょ」のかけ声とともに、割りました。とくに外国の方には、鏡開きを見るのが初めての方が多く、人だかりになりました。





乾杯のご発声は、日本医学会の高久先生にお願いいたしました。

参加者とともに乾杯しました（おいしかったです）。

出し物では、津軽三味線のご兄弟がダイナミックな演奏を披露してくださいました。

最後は、結核予防会理事長の工藤先生のご挨拶をされ、レセプションはあっという間でした。



おまけ



鏡開きが終わった後、檀上から降ろされた樽の前で、大会長自ら、来場された方々へお酌をしてふるまわれていました。

木杓でいただくお酒は、また格別です。